

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : オハイオ州立マイアミ大学

留学期間 : 平成 27 年 8 月 11 日 ~ 平成 29 年 5 月 14 日

私は、オハイオ州にあるマイアミ大学という、アメリカの公立大学の中でもレベルの高い大学に交換留学生として留学しています。その大学を選んだ理由は、選択肢の中で最もレベルの高い大学だったからです。自分を成長させるには優秀な人に囲まれ、刺激を受けたいと思ったのです。私の場合、交換留学生といっても、一年だけの短期留学ではなく、2年間で学位取得を目指した、ほぼ編入のような形の留学でした。しかも、学費や寮費、食費を大学に免除してもらっている立場にいたため、その分責任感も大きく、また全教科で80%以上の成績をキープしなければ強制帰国というプレッシャーがとても重くのしかかっていました。その中で、私は学業だけでなく、より充実した学生生活を送るため、現地での学生団体やクラブに所属し様々な活動も行いました。

現地に着いてまずはじめに、私は様々な団体やクラブ活動に所属しようと機会があれば色々な活動に顔を出しました。友達をたくさん作るためです。その中でも、International Organization の幹部候補面接に出向き、見事企画部副部長を任されました。その団体は主に留学生と現地の学生の交流を目的とし様々なイベントを企画している団体です。また、Japanese Language Table という、現地で日本語を学んでいる学生に楽しく日本語を学んでもらう活動をしている団体の幹部メンバーにもなりました。他にも幾つかの団体に所属することに成功し、いろんな人にも出会うことができました。

しかし、授業が始まって見ると、思った以上に学業とそれ以外での活動との両立が難しいものだと実感しました。私は Diplomacy and Global Politics というメジャーでしたが、マイアミ大学では教養科目に力を入れており、教養必須科目を全てクリアしなければ卒業できないため、自分の得意分野以外の科目を履修しなければいけませんでした。そのため、私は統計学、地質学、アメリカの国内政治体制、シアターの4科目を最初に履修しました。はっきり言って、なめていました。それぞれの科目で毎回出される課題の量、リーディングの量、テストの回数、全てが日本の大学で出されるよりもはるかに量の多いものでした。これらの課題など、毎週ある団体のミーティングや活動を両立するということが、当時の私にはわかっていなかったのです。

特に苦労したのが統計学です。もともと数学の知識など殆どなかった私にはちんぷんかんぷんで、最初のテストの成績はなんと50%でした。80%をキープしなければいけない私にとってそれはものすごく危機的状況でした。そこで私は、毎週金曜日に行われていたヘルプセッションという、自習クラスのようなものに通い、統計学の課題を補助教員の方に教えてもらいながら丸一日かかってしていました。それ以外にも、自ら教授のオフィスに通い詰め、わからないところを聞きに行きました。その甲斐あって、テストの成績はだんだんと上がっていき、最終的には88%とギリギリクリアできました。そうして他の授業も死に物狂いで成績をキープし、なんとか無事に1学期目を終えることができました。

2 学期目は 1 学期目とは違い、教養科目を 1 科目しか取らなくてよかったため、だいぶ自分のフィールドのより専門的な勉強に集中することができました。履修したのは、微生物学、国際関係学、東アジアの経済発展、世界政治、イスラミズムとナショナリズムとデモクラシーの 5 科目です。授業は 1 学期目に比べて、とても面白く、有意義でした。授業内で発言することにも慣れ、そうした討論が楽しかったです。また、教授はそれぞれの分野のスペシャリストなだけあって、レクチャーを聞いていてもとても興味深く楽しかったです。しかしリーディングの量は前学期よりも格段に増え、それに加え、一学期目にはあまりなかった論文がとて増えたことで 1 科目ごとに対する負担がより大きいものになりました。毎回 1 2 ~ 3 ページのリサーチペーパーを各科目ごとに書くのはタイムマネジメントの上でも大変苦労しました。またいくつかのペーパーの締切日が重なることも多々あり、その度に土日は寝る暇もなくパソコンに向かっていました。それだけならまだ自分の興味のある分野なので良かったのですが、ここにきてまた足を引っ張ったのが微生物学です。興味がない上、バックグラウンドの知識が何もなかったため、授業が全然楽しくありませんでした。毎回病原菌やバクテリアの名前や作用などを覚えなければならなく、自分は医学生かと思うくらいでした。しかし、二学期目なこともあってか、クラブ活動との両立の仕方や、タイムマネジメント能力も身につけ、要領よく、全てをこなすことができました。

これから留学をされる皆さんに一言。留学は決して楽しいだけのものではありません。私は高校時代にもカナダに留学していましたが、その当時もとても苦労しました。3 ヶ月程度の短期留学ならともかく、今回私は修行に行くつもりでこの留学に臨みました。それだけの覚悟があつてなお、たくさんの挫折を経験し、何度も自信を失っては成長しての繰り返しです。授業の後、悔しくてトイレにこもって泣いたこともあります。はっきり言って、遊びに行く軽い気持ちで留学に行くのならやめたほうがいいです。それだけの覚悟があつてこそ本当の楽しさを知れるし、周りの人の温かさも感じられます。何も考えず、何もすることもなく時間の流れに身を任せてただ 1 年を過ごすこともできますが、それでは何も得られません。待っていても何も起こりません。ましてや、日本と違い、留学生としての特別扱いなどされません。全ては自分次第です。自分から動かなければ何も始まりません。なので、私が一つアドバイスをするとしたらそれは、自ら何にでもチャレンジして貪欲にチャンスをつかめということです。それができれば、たった半年の留学でもたくさんのものが得られると思います。

つい最近、私の 2 年目の留学生活が始まりました。2 年目になってもやはり、毎日がチャレンジであり、自分との戦いです。去年 1 年で成長した何倍も今年また成長できるよう、頑張っていこうと思います。